

## SPring-8 利用者懇談会

### X線マイクロ・ナノトモグラフィー研究会 第5回研究会報告書

日 時：平成 19 年 12 月 26 日(水)午後～27 日(木)午前（1泊での開催）

場 所：かんぼの宿 岐阜羽島 会議室（〒501-6323 岐阜県羽島市桑原町午南 1041 番地）

#### ○講 演

13:00～13:45 「MicroCT 法によるコンクリート微細構造の観察」

大林組技研 人見 尚

13:45～14:30 「固形医薬品製剤の粒子設計と X 線 CT を利用した造粒物の評価」

田辺三菱製薬 山原 弘

14:30～14:45 休憩

14:45～15:30 「スプリング 8 での CT 撮影データの再構成、及び画像解析について」

大阪大学 上相 真之

15:30～16:15 「高分解能 X 線 CT 画像の処理・解析およびその応用」

豊橋技術科学大学 小林 正和

16:15～16:20 休憩

#### ○運営に関する議事

16:20～17:00 運営に関する議事

#### ○交流討論会

18:00～21:00 交流討論会

（そのまま宿泊）

～12 月 27 日(木)～

午前解散



#### 報 告

第 5 回 X 線マイクロ・ナノトモグラフィー研究会をかんぼの宿岐阜羽島会議室にて行った。上記プログラムのように 4 件の講演が行われた。はじめに、大林組の人見氏より、コンクリートの内部構造、SPring-8 の CT 撮像によって得られる知見、現在の問題点などが紹介された。次に田辺三菱製薬の山原氏から、固形医薬品製剤の粒子設計と X 線 CT を利用した造粒物の評価についての講演があった。大阪大学の山相氏からは、これまでに開発してきた再構成用ボードの高速化のポイントと、実際に研究に使っている過程を示しながらの三次元描画・解析ソフトウェア slice についての説明がなされた。最後の講演は、豊橋技術科学大学の小林氏による CT 画像中の特徴点追跡手法とその精度、さらに、回転ステージの精度評価に関するものであった。また、講演の後に、大阪大学の土山氏が前回話題となっていた計測誤差についての結果報告を行った。

講演の終了後、議事および運営に関する事項として、科研費応募の提案、各種報告事項、第一期活動に対する評価および第二期の活動について議論がなされた。第二期も本研究会

を申請することで、参加者が了解した。最後に、次回の研究会は3月に開催し、これまでに講演を行っていない会員が講演を行うことを決定した。

今回の研究会では、引き続き交流討論会を開催し、会の運営、科研費の申請について意見を交換した。